



MEMOIRS OF THE
FACULTY OF EDUCATION
SHIMANE UNIVERSITY

◀ ● VOLUME **52** ● ▶

SUPPLEMENT

EDUCATIONAL SCIENCE
LITERATURE AND SOCIAL SCIENCE
NATURAL SCIENCE

紀要

島根大学教育学部



Editores

Hiroshi HASEGAWA (Chairperson)
Akimichi FUKUDA, Shizuka MARUHASHI,
Tatsuya KOSAKA and Shinya TSUKADA

Cover

Mitsuru KOTANI

PUBLISHED BY THE
FACULTY OF EDUCATION
SHIMANE UNIVERSITY
MATSUE, JAPAN
JANUARY 2019

島根大学教育学部紀要第52巻別冊

新しい教科専門教育の可能性

平成31年 1 月

目 次

特集にあたって ～「新しい教科専門教育の可能性」～ …………… 長谷川博史 (1)

文系教科における教科内容構成研究の現状と課題

…………… 福田 景道・百留 康晴・富澤 芳亜・榎原 茂・川瀬 雅也・諸岡 了介
・縄田 裕幸・竹田 健二・福田 哲之・長谷川博史・高塚 寛 (3)

理系教科における教科内容構成研究の現状と課題

…………… 塚田 真也・泉 誠・大谷 修司・柿澤 亮平・栢野 彰秀・辻本 彰
・橋爪 一治・長谷川裕之 (15)

芸術・実技系教科における実践的教育活動の現状と課題

…………… 小坂 達也・佐々木直樹・藤田 英樹・小谷 充・川路 澄人
・境 英俊・西村 覚・原 丈貴 (24)

「国語科内容構成研究 漢字・漢文教材研究」授業実践報告 …………… 竹田 健二 (35)

「教科内容構成研究（歴史分野）」授業実践報告

—日本史分野の場合— …………… 長谷川博史 (39)

「指揮法」授業実践報告 …………… 河添 達也 (43)

美術科内容構成の創出とその内容に基づく授業実践

—「造形要素としての『線』」「抽象絵画の成立」授業を例に— …………… 新井 知生 (47)

特集にあたって ～「新しい教科専門教育の可能性」～

社会全体が大きな変貌を遂げていくなかで、教師の担うべき役割は、これまで以上に多様化し、また大きく変化していくことが予想されている。その際にあらためて問われてくるのが、従来から学校教育の機軸をなしてきた各教科を、どのようにとらえなおしていくのかという課題である。

たとえば、2017～2018年に公示された新しい学習指導要領は、そのことを強く意識し、校種を越えて全教科を連動させた新たな教科の位置づけを示している。また、2017年11月の教育職員免許法施行規則改正により、「教科に関する科目」と「教職に関する科目」等の科目区分が「教科及び教職に関する科目」に大括り化され、教科に関する専門的事項と教科の指導法の一体化（たとえば、それら両者を融合した科目の開設や、学校現場の教育内容を踏まえた授業の実施）が強く求められている。さらに、2017年8月の「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議」においては、教職大学院の教育内容の充実が提言され、学校現場の実情に即した実践的な教科領域の教育の導入、学部と教職大学院との一体化が求められている。教員養成課程において、これまで主として「教科に関する科目」を担ってきた教科専門教育は、教科の中身に関する教育の具体的な内容・方法の改善や開発を求められているのであり、これまでにない新たな課題に直面していると考えられる。

教科専門教育は、各教科の内容について、高度な学術的・専門的素養を身につけることを通して、教師としての資質・能力の育成を担ってきている。その役割はきわめて重要であるが、教科・分野の学術的・専門的多様性に規定されて、役割の具体的内容は非常に多面的である。ただし、「教科内容学」に関する研究は早くから進められてきており⁽¹⁾、また本学部において2006年度から開設された「教科内容構成研究」のように、教科専門と教科教育を架橋する科目における教育実践も、すでに一定の蓄積がある⁽²⁾。

この機会に、本学部の「教科内容構成研究」をはじめ、教科専門教育に軸足を置きながら学校における教育実践的内容に踏み込む授業科目について、あらためて現状を確認し、各授業科目の様子や魅力、教育養成学部ならではのさまざまな工夫のされ方について、広く紹介したい。そのことによって、新しい教科専門教育が果たすべき役割と方法について、私たち教育学部担当教員が自ら検証・改善していく手がかりとしたい。

島根大学教育学部附属FD戦略センター長 長谷川博史

註

- (1) 西園芳信・増井三夫編、2009、『教育実践から捉える教員養成のための教科内容学研究』、風間書房 新井知生、2015、「『教科内容学』研究の成果と課題 —教員養成カリキュラムにおける教科専門の授業の在り方を中心に—」、『島根大学教育学部紀要（教育科学）』第49巻
- (2) 島根大学教育学部、2012、「教員養成学部における教科内容研究 —「教科内容構成研究」授業の実態と課題—」、『島根大学教育学部紀要』第45号別冊

MEMOIRS OF THE FACULTY OF EDUCATION
SHIMANE UNIVERSITY
VOLUME 52 SUPPLEMENT / CONTENTS

Introduction ~Possibility of the new method of subject specialism training~

Hiroshi HASEGAWA (1)

Present Situation and Problems of Study on Teaching Contents of Literature and Social Science

*Akimichi FUKUDA, Yasuharu HYAKUTOME, Yoshia TOMIZAWA, Shigeru MAKIHARA,
Masaya KAWASE, Ryosuke MOROOKA, Hiroyuki NAWATA, Kenji TAKEDA,
Tetsuyuki FUKUDA, Hiroshi HASEGAWA, and Hiroshi TAKATSUKA* (3)

Present Situation and Problems of Study on Teaching Contents of Science and Mathematics

*Shinya TSUKADA, Makoto IDZUMI, Shuji OHTANI, Ryohei KAKIZAWA, Akihide KAYANO,
Akira TSUJIMOTO, Kazuharu HASHITSUME, and Hiroyuki HASEGAWA* (15)

Current Situations and issues of practical educational activities in arts and practical subjects

*Tatsuya KOSAKA, Naoki SASAKI, Hideki FUJITA, Mitsuru KOTANI, Sumito KAWAJI,
Hidetoshi SAKAI, Satoru NISHIMURA and Taketaka HARA* (24)

Practical Report on "Study on Teaching Contents of Japanese

(Researching teaching materials of Chinese Characters and Chinese Classics)"

Kenji TAKEDA (35)

A Practical Report on "Study on teaching matters of history"

—Case study on Japanese history—

Hiroshi HASEGAWA (39)

A Practical Report on "Conduct Method"

Tatsuya KAWASOI (43)

Creation of Teaching Contents of Art and the Teaching Practice based on the Contents

—Taking the Cases of "'Line' as the Plastic Elements" and "Formation of Abstract Painting"

Tomoo ARAI (47)

編集委員

長谷川 博史（委員長）
福田 景道　丸橋 静香
小坂 達也　塚田 真也

表紙／小谷 充

平成31年1月15日印刷
平成31年1月15日発行

発行者

鳥根大学教育学部
〒690-8504 松江市西川津町1060
TEL (0852) 32-6251

印刷所

有限会社黒潮社
松江市向島町182-3



島根大学 紀要
教育学部



◀◎……………第 52 卷……………◎▶



別冊



教育科学 / 人文・社会科学 / 自然科学



平成 31 年 1 月 ————— 島根大学

MEMOIRS
Faculty of Education, SHIMANE UNIVERSITY